

大阪市立

いま ぶく しょうがっこう
今福小学校

- 郵便番号 536-0003
- 所在地 城東区今福南2丁目1-53
- 電話番号 (06)6933-3412
- FAX (06)6931-9309
- 校長名 柳井 友裕



【概要】 校区の南側を寝屋川、中央を南北に城北川が流れ、川と共に発展してきた町です。校歌にあるように、東に生駒の山並みをのぞみ、西に錦城と言われる大阪城があり、創立93年を迎えます。

【教育目標】 豊かな心を持ち、地域社会でたくましく生きる子どもを育てる。

【沿革】 昭和6年、鯉江尋常高等小学校の児童増加に伴い、鯉江第三尋常高等小学校として創立、昭和13年10月15日に、鉄筋3階建校舎が完成し落成式を挙げる、この日を創立記念日と定める。昭和22年4月大阪市立今福小学校と改称し平成25年10月、創立80周年記念式典を挙げる。平成27年3月2号校舎耐震工事完了。令和3年1月エレベータ設置工事・玄関工事・外壁新設工事完了。令和3年10月、創立90周年記念式典を挙げる。

運営に関する計画〈中期目標〉

【安全・安心な教育の推進】

○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【結果の概要と今後の方策】

【国語】 領域別では「話すこと・聞くこと」の内容に一番課題が見られた。図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように文章を書くことにも課題がある。また、文章の中で適切な漢字を使うこともまだまだ弱い。国語科に限らず、自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができるよう書き表し方を工夫するなどの活動を確保していく。

【算数】 領域別では、「データの活用」の内容に一番課題が見られた。複数のグラフを比べ、考察したことを他者に分かりやすく伝えることができるようになる必要がある。課題であった「図形」については正答率が上がっている。具体的な操作活動を重視してきた成果の表れと考えられる。「数と計算」については、分配の法則や一の位が0の2つの二位数の乗法など基礎基本的な計算を確実にできるようにしていく。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【結果の概要と今後の方策】

「運動やスポーツをすることが好き」という児童は多く、全国を上回っており運動に対する好感度がとても高い。これは体育の授業中に課題に応じた場の設定や、互いに教えあう時間を取り入れた成果と考える。引き続き、一人ひとりにめあてを持たせ、場の設定の工夫をした取組を行い、各個人の伸びや成果を指導者や友だちが認め、励ましていくことによって意欲的な活動につながっていく。

また、一週間の総運動時間などの結果から、個人の差がとても大きい。多様な運動の経験をさせたり、学級全員や縦割り班で遊ぶ時間を作ったりして運動する機会を増やして、体を動かす楽しさや気持ちよさを感じさせていきたい。そして、生涯にわたって運動に親しむ資質や素地を作っていく。

大阪市教育委員会では、令和5年度「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」については、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるとしていますので、本校では調査結果を公表していません。(全国平均・大阪市平均は29・30ページに記載しています。)

学校のアピールポイントなど

【言語力の向上をめざして】

国語を研究教科として3年目を迎え、教員の指導力の向上を図るとともに、児童の「読む力」「表現する力」を高める取り組みを重点的に進めます。また、漢字学習では、漢字検定にチャレンジするなど、それぞれが目標をもって学習を進めていけるようにしています。読書については、朝の読書タイムを設けたり、「読書の木」などの委員会活動や、学校図書館補助員さんや図書ボランティアさんによる読み聞かせや学習者端末で読書ができるように読書アプリケーション活用したり、環境整備による読書への関心を高める取組をしています。



【一人ひとりに寄り添う丁寧な指導】

令和6年1月に実施したアンケートで、「学校が楽しい」と答えた児童は92.9%。「友だちと仲良く遊んでいる」と答えた児童は100%、さらに「お子さんが学校生活を楽しんでますか。」に答えた保護者は95.2%でした。全校101名の一人ひとりについて、教職員が共通理解を図りながら多面的に、きめ細かく子どもたちを見て、指導しています。

【夕方スペシャル教室】

令和4年度から、全学年の希望者を対象に、月・水・木の放課後に学習する機会を設けています。宿題から始め、その後、自主学習に取り組み、学習意欲の向上と自主学習習慣の確立をめざします。今年は全校の4割近くの児童が登録しています。



【体験活動による豊かな心の育成】

PTAや地域の皆様からさまざまな体験活動を支援していただいています。また、プログラミング、茶道、盲導犬体験、SNS講座と様々な分野のゲストティーチャーを招いて豊かな心、生きる力の育成に努めます。子どもたちは、その中で、命のつながりや大切さを知ったり、人と人とのつながり、温かみを感じとったりしていきます。

【全学年での英語活動】

小中学校9年間の英語教育を見据え、本校では3～6年生に加え、1～2年生にも外国人講師を招いて英語活動を行っています。歌や手遊びなど、興味や関心を高める工夫を凝らしています。



● 校庭に田んぼがあります



【田植え】 【稲刈り】 【脱穀】
毎年、シニア自然大学校「風と緑の会」の方からご指導を受け、5年生が田植え、稲刈り、昔ながらの手動の脱穀機を使い、脱穀の体験をします。そして、最後に、収穫した「今福米」を、みんなでおいしくいただきます。大阪市内から「田んぼ」が姿を消しつつある中、子どもたちにとっては、たいへん貴重な体験です。

学校案内図

(14ページもあわせてご覧ください)



今福小学校